



1973年1月13日第3種郵便認可 HSK通巻番号518号
 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
 発行日=2015年4月10日(毎月10日発行)
 編集者=我妻 武
 ◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
 〒063-0812
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
 TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
 ホームページ <http://npolife.net/>

2016年5月号

No.186 [May] 定価 100円

あどばけいと【advocate】=すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。

平成28年熊本地震

被災地・被災者の皆様に
心よりお見舞い申し上げます

理事長 我妻 武

この度の、「平成28年熊本地震」において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

被災地におかれましては一日も早い復旧と、皆さまのご無事を、お祈り申し上げます。

この度の地震では多くの方が被災されましたが、私もライフや共同連とつながりのあるくまもと障害者労働センター倉田哲也さんや熊本学園大学の花田昌宜先生、東俊裕先生も被災されました。しかし、すぐに被災者を支援する活動を始められたことには敬服しているところで、こちらでも何かできないだろうかと話をしていました。

倉田さんたちは災害弱者とも言われている障害者支援活動をすぐに始めました。こうした動きの中で共同

連事務局(名古屋)から依頼があり、現地に「被災地障害者センターくまもと」を立ちあげるために人を派遣してほしいと要請がありました。

これを受けて、札幌からは当法人の石澤専務を支援活動に4/27～5/3まで派遣してお手伝いをしたところですが、今後も継続的な支援が必要です。まずは資金的なところで、募金などの寄付金を集めること等を継続していくことが必要です。必要な物資については現地と連絡を取りながら対応することとなりますが、まずは現地で必要なもの等に充てることができる資金をお送りすることが先決だろうと思っています。

どうぞ皆様のご支援をお願いいたします。



募金等の受付先

被災地障害者センターくまもと・JDF熊本支援センター 〒861-8037 熊本市東区長嶺西2-6-11
 TEL 096-234-7728(9:00～18:00) FAX 096-234-7729(24時間対応) E-mail: hisaitikumamoto@gmail.com

支援金
振込先

口座名	被災地障害者センターくまもと		
銀行名	九州労働金庫 熊本本店	口座番号	普通 6396779

社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南1丁目5-40
 電話 096-382-0861 FAX 096-285-7755

支援金
振込先

口座名	社会福祉法人くまもと障害者労働センター 理事長 花田 昌宜		
銀行名	熊本銀行 託麻支店	口座番号	普通 2091044

熊本での支援活動報告

専務理事 石澤 利巳

4月14日に発生した熊本地震。「くまもと障害者労働センター」の野尻さんに安否確認のメールを送ると、「事務所は大丈夫です」との返事が来た。何か出来る事があればいつでも言ってくださいと伝えていた。一週間後、熊本学園大学の花田さんより電話が入り「ライフは石澤さんがいなくても大丈夫だよ。人手が足りないのだから来てくれないか?」という内容だった。

幾つかの用事を済ませ、4月27日の飛行機の予約が取れ熊本に出発。先に支援に入っていた「わっぱの会」の羽田さんと労働センターの大久保さんが空港まで出迎えてくれた。熊本空港は被害の激しい益城町にある。被災の激しい街並みを見ながら労働センターに到着。センターの仲間たちが「おれんじ村」で忙しく動いていた。救援物資も山のように積まれている。中には、家が被災して避難している人もいた。

おれんじ村の仲間たちは、震災後の活動として地域の人々の困りごと相談のチラシ配布を行い、支援活動や相談対応などの取り組みを始めていたことには感激した。

その後、被災した障害者の受け入れに取り組んでいる熊本学園大学を訪れ、花田さんや田尻さん

に現地の取り組みの話を聞き、熊本学園大学の積極的な支援体制の取り組みを垣間見ることが出来た。



翌日からは、支援拠点である「被災地障害者センターくまもと」の事務所作りや現地常駐体制などをどのように作っていくか等の打ち合わせを行いながら、慣れない街中を移動する。市内では多くの瓦礫や壊れた家具類などが路上に積み上げられている。産廃業者のトラックも多く見かけるが、如何せん道が狭く瓦礫などの撤去までにはかなりの時間を要しそうだ。一見建物は壊れていないものであっても、その中ではあらゆる物が散乱、倒壊するという状態で、揺れが続く中では手の施しようがないのも現実だろう。益城町は、熊本市内よりはるかに被害が大きく、建物の崩壊を数多く目にしてきた。建物だけではなく農地も地割れしており、復興には予算も時間も必要だろう。



被災地センターの事務所機能が徐々に出来上がり、激励に来られる方やボランティア希望者の問い合わせ、相談電話で忙しくなる。現地の常駐ボランティアも決まり、要となる常駐責任者には、「ゆめ風基金」の八幡さんが就いてくれた。

これで、代表の倉田さん(労働センター代表)、事務局長の東さん、事務局次長の平野さんという万全の布陣が出来上がったので、私の方は「おれんじ村」の再建にむけて少しばかりのお手伝いをし、5月3日に帰札した。

共同連の仲間の皆さん、カンパや物販等出来る限りの財政的支援と可能であれば人の手配もお願いしたい。



一人暮らしをやって…?



と俺の障害について

こころや 後藤 高志

昨年10月18日から一人暮らしを始めました、初めて一人暮らしをやって6ヵ月経ってあっという間に時がたつのが早く感じました。

ベットや冷蔵庫やレンジなどを買い、風呂の入り口に手すりを付けたり(手すりは、四方八方にあると良いです)、調理器具を買ったりしました。だけどオートロックなのでマンションの玄関に入るのに、たまに転んだり、一回で入れなくて…?

一日の流れは、朝5時55分に起きて青汁を飲み、洗面をして、6時45分ぐらいに朝食をして、7時15分ぐらいに食器を洗い、コメの準備をして(夕食の準備)、8時ぐらいに着替える。8時30分ぐらいに作業所に出勤する。16時45分に作業所が終わったら、17時15分ぐらいにイオンで夕食の買い出しをして、だいたい19時ぐらいに家に着き、19時15分から夕食

の準備をする。だいたい20時から食事する。20時30分ぐらいに食べ終わり、つけおきしておく。21時からシャワーに入り、21時40分から洗濯をしながら、テレビを観て酎ハイを飲み、23時30分には寝る。

火・木曜日はヘルパーさんが入るので料理、入浴、掃除はしてくれる。休みの日は、見たい番組を録画して、それを観て一日を過ごすか?すすきのに遊びに行くか?のどちらかにしています。

少し僕の障害について話します。

僕は生まれつき脳性小児麻痺です。それに、CPです。僕もCPの単語はどういう意味か解らないけれど、解りやすく言うと音などでビックリすることです。僕は少しの音でもビックリする体質で、葬式のオリン(ち〜ん)の音でもビックリします。なので料理などをする時は、椅子に座って料理をしたり、流し台によし掛、物音で転ばないようにしながらやっています。

だけどビックリする時とビックリしない時があるみたいで、それが僕にも解らない。音が鳴ると解っててもビックリします。だから気にしないでいつものようにしてください。それに何年かまえに、テレビ番組で音などで驚いて発作を起こす病気の人もいるそうです。外国人です。

《車イス旅行記シリーズ》

奄美大島 加計呂麻島

に行ってきました！

かけろまじま

前編

もじや 清野 未来



4月9日～11日まで、奄美大島(加計呂麻島)に旅行で行ってきました。加計呂麻島と聞いても、どこだかわからない人が大半だと思います。奄美大島の南端から船で30分ほどのところにある島で、人口1,600人ほど。男はつらいよシリーズの最後の映画のロケ地としても知られているそうです。

そもそもなぜそんなところに行くことになったかというと、最初は留学時代の友人同士で奄美への旅行を計画していて、たまたま一人がテレビで見かけた加計呂麻島の海の青さにやられてしまい、急遽予定変更。そんな秘境にどうやって車椅子で行くんだろうと思いつつ、面白そうなので同行することに。

日程は、金曜夜に千歳から成田に飛び、東京の友人と合流して一泊、翌朝便で奄美大島に向かい月曜夜に帰宅という超弾丸。最初は無謀にも思いましたが、なんとか元気に帰ってくることができました。



まず、宿泊先探しです。さすがは秘境のリゾート。宿の情報も少なく、やっとネットで出てきたのは若い移住者が去年建てたゲストハウス(簡易宿泊所)。バリアフリー状況を問い合わせたところ、とても親切に写真を送ってくれたのですが、届いたのはこの写真(←)。トイレの手作り感が満載です。どうなることやら。でも、宿の裏手が海というのにひかれ、結局予約を入れました。

さて、いよいよ旅行当日となりました。新千歳空港から成田へ、そして翌日

朝のフライトで奄美大島へ。成田は快晴だったものの、奄美は雨。着陸前には30分程上空で旋回するハメになりましたが、なんとか到着。現地の方も皆さん良い方ばかりなのですが、なんだかゆるい雰囲気。私の車椅子の梱包をほどこいてゴミをその辺に放置。レンタカーを借りるときも細かい説明は一切なし。



カーナビも田舎すぎて、住所が途中までしか入らず、不安な中、郷土料理の鶏飯(けいはん)のお店へ。飛行機が遅れたせいでお昼をとうに過ぎていて一軒目は品切れ。二軒目でやっと食べた鶏飯。鶏肉を細かく割いたものと錦糸卵、椎茸、ミカンの皮の粉末等をご飯にのせ、熱々の鶏だしをかけていただきます。ものすごく美味しかったです。

そこからさらに車で走ること一時間弱、やっと港に到着。フェリーに乗って30分で島へ。ゲストハウスまで、熱帯雨林か?と思うほど木が生い茂った道を15分ほど走って、やっと到着。当然ネットの電波もなく、宿に到着時間の連絡をすることすらできませんでした。唯一ドコモの友人の携帯がなかったら遭難していたかも。

宿のみなさん突然の到着にも暖かく迎えていただきました。不安に思っていたトイレはなんと屋外にあり焦りましたが、配管を伝って段を超え、なんとか一人で使うことができー安心。そして三日間、秘境のサバイバル旅が始まったのでした。(後編につづく)





札幌市委託事業

アウトソーシングセンター

元気ジョブ

マッチング事業

- 民間・官公庁への営業活動
- 受注した業務の振り分け
- 授産品の販路拡大

ラジオ番組に 初出演 してみて

元気ジョブ所長 小形 忠寛



それは、確か昨年暮れのことだったと思います。札幌チャレンジドの佐藤さんにデータ入力の仕事依頼して、発注先へ一緒に行く途中の会話で、「うち、今度三角山放送局でラジオ番組『札幌チャレラジオ通信』をやるんです」ということを伺いました。よく聞くと、それも「生放送」でやるとのことでした。「へー、大変だなー」と内心思っていた矢先、今年2月下旬に札幌チャレンジドの佐藤さんから声がかかり、3月7日に出演することが決まりました。

「札幌チャレラジオ通信」は、三角山放送局で今年1月に始まり、毎週月曜日午後3時から30分の番組で1年間放送されるとのことです。

出演する日が近づくにつれ、日増しに緊張が高まってくる感じがわかりました。例えば、何をするにしても普段より早過ぎたり、また逆に遅くなったりして、時間という感覚がなかったような気がしました。出演当日も少し早めに事務所を出て三角山放送局に到着したものの、札幌チャレンジドの加納さんと佐藤さんの姿はなく、不安を抱きながら到着するのを待っていました。

そして、休憩所で簡単に打合わせをすると、いよいよ

出演となりました。私にとっては初めて足を踏み入れるスタジオへ、3人一緒に入りました。ヘッドホンやマイクのチェックを終えるとオープニングの曲が流れ、『札幌チャレラジオ通信』が始まりました。

MCの佐藤さんから「本日のゲストは…」ということで紹介され、まずは「元気ジョブ」について業務内容の説明を10分ぐらいさせていただきました。結構、緊張していたこともあって、あらかじめ作ってきた原稿を「棒読みしているかなあ」と思いつつ、何とか無事前半が終わりました。

その後、音楽で休憩をはさみ、後半は、さらに詳しく「元気ジョブ」のマッチングの仕方と今後の展開について、10分ぐらいの話をさせていただきました。休憩中の雑談で、少しは気持ちもやわらいだこともあってか、「後半は少し滑らかに話ができただかなあ」という実感がありました。

リスナーの方々に「元気ジョブ」のPRができてよかったと思いました。札幌チャレンジドの加納さんと佐藤さんには、とても良い体験をさせていただき大変感謝しています。



外注したい業務のある企業様に、その業務ができる施設をご紹介します！

役務 パソコン作業／テープ起こし／封入／シール貼り／草刈り／公園清掃／ポスティング／建物清掃 など

授産 印刷／ノベルティー制作／木工品／革製品／石鹸／パン／ケーキ／クッキー／野菜／お弁当 など

販売 出張販売／イベントなどでの出張販売／バザー など

その他さまざまなお相談に応じますので、

詳しくは、元気ジョブまでお問い合わせください！(TEL:011-596-6581)

～施設紹介やイベント情報掲載！～ **元気ジョブブログ** <http://www.genkijob.jp/blog/>





札幌市リユースプラザ

厚別地区リサイクルセンター併設

環境事業／ごみ減量活動

■家具の洗い・簡易修理 ■資源物回収 ■木製家具や子供用遊具などの販売
■リユース自転車抽選販売 ■環境イベント、講座など

札幌市リサイクルプラザ

発寒工房

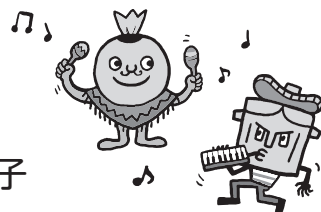
環境事業／障害者・高齢者雇用促進

■木製家具や子供用遊具の修理・提供 ■自転車の修理・提供



地区リサイクルセンター 担当者大集合！

リユースプラザ 松永 クニ子



4月18日月曜日、札幌駅側の居酒屋日本一にて懇親会を開催しました。地区リサイクルセンター（※以下地区リ）は市内に4カ所ありますが、それぞれの施設が遠く離れていて地区リ担当者が顔を合わせることが難しいです。同じ地区リ内でも、一人勤務ですから中々会うことがありません。

今回は中央地区リ開設時から勤務していた佐々木さんが、3月末日を持って勇退するため送別会と4月から勤務されている福田さんの歓迎会も兼ねての懇親会でした。残念ながら4名の方が参加できませんでしたが、楽しい時間を過ごすことができました。



①日本一名物、かにぶっかけダシ巻き卵に大盛り上がり！



②仕上げのファイヤーで更に盛り上がり！！

た。今回は、親交を深めるため自己紹介をしました。

中央地区リは平成20年11月に開設、佐々木さんは8年間資源物を受付していたのです。今では土日の来館者数は100人に届き、1日の回収量は約1トンと本当に認知度が上がって一人での対応では間に合わない地区リです。各地区リの簡単な説明をして気付いたのですが、西地区リは平成23年3月12日（土）に開設しました。東日本大震災の翌日が開設で来館者が一桁…来館者人数が伸びない状態が、古着回収が始まる平成25年10月まで続いたのです。以後西地区リも現在では土日の来館者

100人、回収量は1トン近くあるそんな施設になりました。北地区リは平成26年10月5日に開設し、この日は古着回収開始日と重なり、新聞などでも取り上げられてことからたくさんの市民が来館しました。ひとつ、ひとつの地区リに色々な思い出があり今回の懇親会は考え深いものがありました。自宅にある資源物を「まとめて出せる！」「土日に出せる！」「無料で出せる！」というキャッチフレーズに対応している地区リのシルバーボランティアの皆さんには、益々元気で頑張ってもらいたいです。



地区リサイクルセンターの素敵なおじさまたちです！

「枝・葉・草」の回収が始まります！

リユースプラザ 澤田 茂則

毎年5月1日から地区リサイクルセンター（※以下地区リ）で「枝・葉・草」の持込み受け入れが始まります。

5月～12月までは資源物として回収されますが、皆さん早く庭をきれいに整えたいので、4月になると問合せも持込みされる方も多くなります。

12月～4月の間の受け入れ期間外では、「枝・葉・草」は燃やせるごみに出すか、大型ごみに申し込んで回収してもらう有料ごみ扱いとなりますが、5月からは資源物となり無料です。

リサイクル（資源に戻す）のための資源物にはルールがあります。家庭から出た「枝・

葉・草」は、刈芝、草花、落ち葉で、透明か半透明のビニール袋に入れ、庭木の剪定枝は長さ50cm以下のものを長さ1m位の紐で縛って持ち込まなければいけません。そして野菜や果実（果物）材木類、木製品、竹・笹、むしろなどの冬囲い用品などは対象外です。

ところで、「どうして透明か半透明の袋なのですか？」という質問が多いのですが、それは「袋の中の確認」のためです。ごみステーションでは、収集作業員の方々も袋の中身を確認して収集しています。ルール違反はダメですよ！あと、一気に片付けたいと70ℓ、90ℓの袋で持って来る方も多いのですが、お願いですので45ℓの袋に入れて下さい。各地区リでは月2回収集車が回収しています。屋外に置いているので熱や雨で袋の中で発酵して液状化し収集車に積み込む時に、重さで袋が破れて散乱することがあります。

お住まいの地区のごみステーションでは、5月から12月の間、4週に1回の回収ですが、地区リであれば草刈りを終えてすぐ持込みことができます。どうぞご活用下さい！！

回収された「枝・葉・草」は山本処理場にて堆肥化され、公園などの花壇へ肥料として提供されています。こうしてリサイクルの循環の環が繋がるのです！



リユースプラザの横にこのように積み上げられています。



発寒工房
親方VS
昼休みの
真剣勝負





ヘルパー派遣業務・在宅介護支援
ヘルパーステーション

ゆい
繭結

ヘルパー派遣業務／在宅介護支援

- 居宅介護 ■訪問介護 ■重度訪問介護
- 介護予防訪問介護 ■福祉有償運送
- 行動援護 ■同行援護 ■移動支援

ニューカマーです！

ヘルパー 広瀬 亜矢子

初めまして、昨年12月からお世話になっています。2月のミーティングで齊藤さんから「次のあどぼけの原稿をお願いします」と伝えられて、文章を書くのがとても苦手な私は正直戸惑いました。何を書いたら良いか悩みましたが、私がこの仕事をするきっかけになった学生の頃の話を書きたいと思います。

地下鉄琴似駅から近い美芸学園という専門学校で、保育士を目指していました。幼稚園教諭やヘルパー2級の資格が取れるのも魅力で入りました。実習では、子ども、高齢者、障害者の方と多く接してきました。障害者施設での実習の中で、ある男性との出会いがきっかけで興味をもち始めました。

その方は自閉症で、無表情で会話もなく、どう接してよいかわからず戸惑いました。私自身も自閉症を良く理解していなかったこともあります。しかし、あいさつや会話がなくても、きちんと理解していることや関心をもってくれたことを知り、何か少しでも役に立てることはないか、お手伝いすることはないかと考えるようになりました。その後も障害児託児サービスなどボランティアを続けて、卒業後は前の職場であった事業所で、12年間お世話になりました。そこが閉鎖

になり、現在利用者と共に繭結にお世話になっております。10代の頃に通っていた琴似とは少し変わっていましたが。しかし変わらずある和菓子屋、惣菜屋を見るとなつかしくも感じます。その頃の気持ちを忘れずにこれからも続けていこうと思います。

さいとうのヘルパープチ講座

不安になったり、緊張している時は呼吸が浅く、体がかたくなっています。この状態から解放されるには深呼吸が役に立ちますよ。深呼吸をすると自律神経が安定し神経のイラだちを鎮めリラックスするのに効果的！

まず、口から吐けるだけの息を吐きます。ストローを使うようなイメージで細くゆっくり吐き出します。これ以上、吐き出せないところまで吐きます。そして、口を閉じたまま鼻から思い切り酸素を吸い込みます。(お腹が膨らみます)これ以上、息を吸えないところまで吸い込む。これを数回繰り返します。疲れた時やイライラした時など、いつでもどこでもできるリラックス法なので試してみてください(^o^)/毎日続けると心身の新陳代謝もよくなります！

ヘルパーステーション繭結では、共に働く仲間を募集しています！

ヘルパーステーション繭結(ゆい)では、ホームヘルパー(1級または2級ヘルパー資格保持者)を募集しております。まずはお話だけでも聞いてみませんか？ ご応募お待ちしております。

- [勤務先] 西・東・北・厚別・白石の各区 ※勤務場所への直行直帰可
- [資格] 経験不問(学生さんもOK、ブランクがある方・未経験・勉強中の方も歓迎)
- [時間] 7:00~24:00の間で2~6時間位、週1~6日の勤務
- [給与] 時給850~1,200円以上、交通費規定
- [応募] 電話の上、写真付履歴書ご持参下さい。

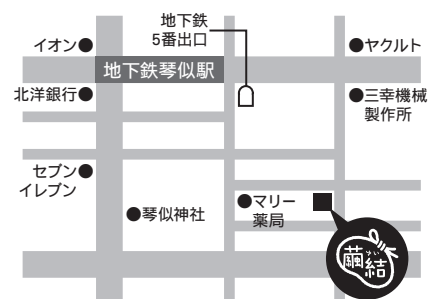
勤務先・時間・日数等、ご希望に合わせます。

連絡先



Tel: 011-623-2505 (佐々木・齊藤)

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32



就労継続
支援事業
A型

共働事業所 きばりや



カフェ・ド・キバリヤ

Cafe de Kibariya

農業／配送／軽作業

■農業 ■ポスティング ■DM発送 ■軽作業 ■その他委託業務

喫茶

■カフェ、ランチ、スイーツなど ■食品販売

復帰しました！

きばりや 大加瀬 まどか

4月11日から、育児休暇を終えて復帰しました。

長いようで短い1年2カ月。家にいる時は早く仕事に戻りたかったのですが、いざその時になると少し躊躇してしまいますね。

1週間働いて少し体が慣れてきたと思ったら、次の週から子供たちが相次いで病気に…。1週間もお休みをいただいてしまいました。こんなに周りに迷惑をかけてまで仕事を続けるべきなのか、毎日子供たちに寂しい想いをさせてまで仕事をするべきなのか…。本当に色々悩みはつきませんが、仕事中は仕事に集中して頑張りますので、よろしくお願いします。



3つの「思い」

きばりや 加藤 信二

私も含め、とかく人は自分の思い通りにいかないと感じ方が晴れないものである。そんな中でお釈迦様は「思い」には3つあってそのバランスを説いているようです。ひとつは「自分の思い」ふたつは「他人の思い」もうひとつは「世情(世間)の思い」です。

自分の思いだけを通して、それは他人を無視することになってしまうし、また時代によっても世の中の風潮は違います。この3つの「思い」をバランス良くとりながら今年もみんなと楽しく仕事をしていきます。



新風

きばりや 濱中 孝仁

はたけのメンバがたくさんいろいろな仕事時にギチギチよかったです。

みんなのハウスで中にミニハウスを作りました。濱中、星でスポ時にネコ土にいれました。石、こなをいれました。最がくるで大浦拓磨よかったです。

Cafe
de
Kibariya

カフェ・ド・キバリヤ 今月のおすすめ！

期間
限定

ようやく暖かい季節になりましたね♪
今回は天気の良い日に食べたくなるひんやり冷たいスイーツのご紹介です！

《抹茶ぱふえ》

490円

キバリヤでとれた農薬不使用の白花豆と金時豆の甘煮や、白玉だんごを贅沢にのせた和風パフェです。





札幌市障がい者協働事業所

共働事業所 もじや

印刷事業

- 各種デザイン ■各種印刷 ■その他企画・制作
- グッズ・ノベルティ ■看板・屋外広告 ■のぼり・横断幕
- テープ起こし ■各種データ入力管理

浅野 史郎氏
講演会地域とともに
地域で生きる

永島 勝章

去る4月15日、浅野 史郎氏の講演会に行かせてもらった。開演時間前に会場に着いたのだが、会場はもういっばいで一番後ろで聞いていた。浅野 史郎氏は講演会の前座として、笑いのある話で会場の空気を和ませながらも、どんなお客さんがいるのかを観察しているようにも思えた。

浅野氏は、宮城県仙台市出身で、日本の元政治家。元厚生官僚、元宮城県知事で、現在は慶應義塾大学総合政策学部総合政策学科教授などを務めている。講演会は「地域とともに地域で生きる」という演題で進められていった。

浅野氏自身の経歴を紹介しながら話が進んだ。中でも、厚生省から北海道庁福祉課課長として実際に障害当事者や当事者の親たちと関わった2年間で、福祉の道への原点だと話していた。この道庁福祉課課長の主な仕事は陳情書や要望書の受付であった。その当時「我が子を入れる施設を作ってくれ」という障害者を持つ親からの陳情が多い中で、「私達が地域の中で生活が出来るようにケア付き住宅を作ってくれ、障害があっても地域で生活がしたい」という、理にかなった説得力のある言葉に共感を得て福祉の道へ情熱を注いでいった。道庁で2年間の勤務を終え、厚生省の障害福祉課課長の時に、まずやるべき事は「地域で生活をするのなら最低賃金の確保」だということで、「就労支援A型」と「グループホーム」法制定に着手した。

宮城県知事就任後には、「みやぎ知的障害者施設解体宣言」を公表し、その折に「障害者福祉の目的は、障害者が普通の生活を送れるようにすることである。そのために、今、それぞれの立場で何をなすべきかたどり着くべき島影をしっかりと視野に入れて、船の進むべき方向を間違わないように荒波を乗り越えつつ進んでいかなければならない。たとえ時間はかかっても、必ず目指す島に到達することはできると信じている。同じ船に乗り込んでほしい」と職員に語り、グループホームなどの整備のすえ「舟型コロニー」の解体に至った。浅野氏は現在でも、教育・文化など多岐にわたって障害者と健常者が同じ活動ができる場を作る挑戦をしている。

その中で興味深かったのは、障害者が一般企業に週に1～2回出向き、はじめは1時間の労働からのスタートで、そこから仕事・職場環境に慣れていくというシステムだ。一人の障害者が仕事をしている時、地域で募ったボランティアが目届く範囲で見守る「ジョブトレ」は、その後、就職をしてもやめずに定着率も高いようで、企業側も「障害者が就職してくれたお陰で会社の中も和みとても良い雰囲気になった」という話も聞かれるようだ。

私自身も家族をもち生活を始めて12年、施設から出てもしやで働くようになり、最初は不安や出来ない事ばかりの連続だったが、その分、私が一言声をかける勇氣で、地域・職場・お客様といろんな場面で健常者とはまたひと味違った深い人間関係が作られ、生活が出来ている事を講演会を聞きながらあらためて実感した。

これからも感謝を忘れず、仕事・生活を頑張っていきたい。

連載 第二回：情無用のジャンゴたち 早川 玄

マカロニウエスタン(イタリア本国ではスパゲッティウエスタン)は、純粋にアクションや個人の情念を楽しむための西部劇だ。伝統的アメリカ西部劇のファンからは邪道扱いされているが、本家の西部劇自体が虚構に満ちたものだったから、何をいってもやである。今回、マカロニウエスタンの一つのひな型を作ったセルジオ・コルブッチ監督について書いてみたい。

彼はアメリカ西部劇では敬遠されてきた、身体に障害を持った主人公を登場させたのである。『ミネソタ無頼』では視覚障害、『殺しが静かにやってくる』では聾啞者が主人公だが、最も有名なのは1966年の『続・荒野の用心棒(原題「DJANGO」)』の主人公ジャンゴだろう。この映画で主人公は、リンチで両手を潰されて拳銃を持てなくなってしまう。しかしその状態で最後の対決で勝利する。初めて観た時には健常者だったので、「そんなバカな」としか思わなかったが、障害者になってからあらためて観ると、思うように動かない両手を使い、何度も失敗しながら拳銃を墓標(十字架)にくくり付けるシーンは泣けるほど感動的であり、自分にとっても、片腕が使えなくて不便を感じる時は、必ずこの場面を思い出すことにしている。



就労継続支援事業B型
共働サービス

たねや

店舗業務／清掃／軽作業

- 自然食品・雑貨などの販売、店舗業務
- 出張販売 ■ 清掃委託業務
- 軽作業

たねやに新しい仲間が加わりました♪

初めての経験ばかりで、日々奮闘中です 畑 憲一

はじめまして、4月より「たねや」にてお世話になることになりました、畑 憲一と申します。

先月末には同時期に入った酒井さんと共に盛大な新人歓迎会を盛大に開いていただき、とても楽しい会をありがとうございました！

歓迎会の際には皆さんから強力なパワーをいただいて、「これから頑張るぞ！」という気持ちで身が引き締まる思いを抱きながら、おいしいビールをいただく事が出来ました。まだまだ慣れない事が多いですが、早く仕事に慣れてまいりたいと思います。

今後は何かしらの助成事業などにスタッフ、メンバーのみなさんと相談しながら更に新しい事にも挑戦できたらいいなと思っていますので、何卒宜しくお願いいたします。



はじめまして 酒井 めぐみ

はじめまして、4月よりたねやでみなさんと一緒に働かせていただいております。“酒井 めぐみ”と申します。

これといって趣味は無いですが、お酒は好きです！

たねやでのお仕事は初めてのことで新鮮だったり、とまどったり…。スタッフ、メンバーの皆さんには大変ご迷惑をおかけしております。が…、一日、一日努力を積み重ね、一日、一日を大切にしながら頑張っていきたいです。どうぞ、よろしくお願いします。



僕の悩み

井口 真二

僕はいま、ゴミの仕分けに2かしょ行っています。

ゴミの仕分けのため、たねやにいる時間が1週間に1回しかないのに、たねやのじょうたいが、わからないじょうたいですが、たねやにいるときは、出来るだけたねやの仕事をがんばりたいです。



清掃について

増田 真理子

あけぼの清掃は、昨年から1Fの男子トイレの清掃をしました。最初は男子トイレのやり方がわからなかったけど、今では慣れるようにしています。1Fの女子トイレが終わったら、1Fのトイレを手伝っています。たねやでは、お菓子の箱を作ったり、それを箱詰めしたりしています。朝、それののうひんにも行っています。箱つめは楽しいです。大変な部分もありますが、無理をしないようにします。



Facebook 『共働サービスたねや』のFacebookでも、商品情報などを随時更新していますのでぜひご覧ください。
随時更新中! <https://www.facebook.com/taneya.life>

共働サービスたねやfacebook

検索



就労継続支援事業B型

コソ・ブリオ

ひだまり

食品販売飲食業／清掃

- 食堂（ランチ、ドリンク） ■テイクアウト弁当
- 自然食品、フェアトレード商品販売
- 私立札幌病院床頭台清掃委託業務

ボランティアを させていただく 藤田 めぐみ

熊本地震でボランティアが注目されています。九州まではとても行けませんが、でも、身近にもボランティアの機会がありますね。ボランティアは、自分の見聞を広めてくれ、様々な出会いがあったりもします。

夏の話になりますが。一昨年、私の住む地域の町内会で、「七夕のローソクもらい」の子どもたちの引率のボランティア募集がありました。なんだかおもしろそうだったので応募し、昨年も参加させてもらいました。町内会では、あらかじめ配布ボランティアの家に、子どもたちの人数分のお菓子を配っておきます。この8～9軒のお宅へ、地図を頼りに子どもたちを連れて行くのが役目です。

8月7日、集合場所に行くと、参加児童とお母さん方が合わせて30人くらい集まっていた。私を含む2人のボランティア（少なっ！）で引率です。交通安全の旗を持って、地図を見ながら、子どもたちが歩道から飛び出さないように注意して、約1時間で家々を回りました。たった1時間ですが、子どもの歩調に合わせて歩くのはなかなかしんどいもの。最後には子どもたちのお菓子袋はパンパンにふくらんで、笑顔。私に懐いてくれた子どもが手をつないでくれたりします。打ち合わせも含めるとボランティアの時間は3時間くらい。でも結構な充実感でした。今年の七夕は日曜日です。またボランティアの募集はあるでしょうか。



しごと

吉川 卓哉

しりつびょういでシヨトダイ(床頭台)のしています。カセットのしごとをしています。ダーボルのしごとをしています。

営業時間のご案内

営業時間 月～土曜日／10:30～17:30（お食事は11:30からとなります）※お食事・お弁当のラストオーダー17:00まで

定休日 土・日曜日・祝日・年末年始（イベントなどにより変動する場合もあります）

お知らせ 土曜日の営業と、金曜日の居酒屋営業は現在都合によりお休み中です。再開する際はお知らせいたします。



今、頑張っていることが 楽しいこと！

伊藤 美由紀

今年の4月で、熊谷さんと一緒に入って、5年目になりました。市立病院では、床頭台清掃で頑張っていることは、急ぎがあつたけれど、1人で1台頑張つてやっています。忙しいときで紙2枚になるときがあります。たいへんだけれども、11時30分まで仕事しています。

去年てんきんした先生がいて、販売に行ったらしつて



いる先生が少なくなりました。たくさん買ってくれる先生もいます。まだ私が卒業するまでいた先生がたまに買ってきて嬉しかったです。ほしみ高等学園と星置養護学校に販売に行けて楽しいです(^曲^)



歳をとるのも、 あっという間！

成田 めぐみ

年が明け！あつという間に半年がたち…初夏を感じる季節になりました♪4月には仲間も増え♪相変わらず！いえいえ！前にも増して笑い声の耐えないひだまりです(*^^*)

お休みさせて頂いてる居酒屋の復活や毎日のお弁当の新しいメニュー等々…皆で試行錯誤中です♪

お客様が少しでも笑顔になれるよう♪ひだまり一同、心を一つに頑張ってますので楽しみにお待ちください♪





生活介護事業 ころや

お米販売／軽作業

■レクリエーション ■アート活動
■お米の卸し・販売 ■軽作業

Aさんの思いを大切に 小黒 悠佑

4月14日(金)、ころやのメンバー数人と抗議行動に参加しました。これは、知的障害を持つAさん(15歳)が受験の際、彼に対し合理的配慮を怠り、定員割れにも関わらず不合格にした某高校への抗議です。高校と道教委へ抗議文を提出し、道庁の記者クラブで取材を見守りました。

高校側の対応は、冷たいと感じました。戸惑っているようで、問題と向き合いたくない、その準備がまだできていないという印象です。

記者クラブでは、Aさんの母親の言葉から、Aさんの思いを聞くことが出来て良かったです。一番大切なのは、Aさんの思いです。高校側の障害者差別解消法違反も重要な問題ですが、沢山の思いが合流することで、当事者であるAさんの心を置き去りにしてしまわないようにと願います。私もまた、この問題に目をそらさずにいきたいと思っています。

4月7日に厚真に米の配達に行ってきました。

新井田 琴江

男性2人、女性1人だったよ。また行きたいです。

輪厚(わつつ)で弁当といかめしを食べました。おいしかったです。

米も運びました。1袋20kgで重かったです。

知的障害男性の受験のあり方へ

山口 敏明

ふだんからのぞもんが有りました。

今年4月から差別解消法が出たばかりなのににある高校の定時制入試受験者(学生)に対し、もつと強いやさしさと、アドバイス、その支援のような物があればなあ。

知的障害者だからこそ、その人をしっかりほさが出るのうかと、りきみない話し合いができる仲間を作る人間性を作っていくなどをもってほしいですね。

これからの学生の有り方と行方を見守って行きたいのでしっかりね!



みっちゃんの

勝手にどうぞ~!

今月のゲスト/ころや 佐藤 賢治



み ライフは何年経つの?

約35年くらい前から。
ワープロフロアーの頃から。

み どうして入ったの?

フリースクールの校長が石澤さんと知り合いで、フリースクールがつぶれてここに来ることになった。

み お仕事楽しい?

どうだろ?いろいろ辛いこともあるけどがんばる。

み 辛い事? 人間関係かな、やっぱり。

み 何をがんばるの? 人間関係と自分自身と向き合う。

み 一言言っていていいかい? はい。

み 難しいこと言わなくていいから、皆に好かれることが今の賢治さんにとって大切。

はい。でも心底人を好きになることって大変。

み そのことではなく、賢治さんが皆から信頼されるようにするには、と言うこと。

今のオラには難しい質問かな。

過去に留まっている、時間が止まっている。

み そこがあなたの悪いところ。かつていい言い訳しないで、したくないならしたくないって言えばいいんだよ。

(今は)真剣に自分と向き合うことをしたくないのかも知れないね。

み 話を変えるよ。好きな人はいますか?

過去にはいたけど...

み 今は? 今はない。Kさんくらい。

み どこが好きなの? 優しくしてくれるところ。

み 可愛い所かい? いや、姉さんって感じ。

み 朝寝坊は? 最近してない。

み 脱走するのはどうして?

何もかもから逃げたくなる。
嫌なものは逃げたくなる。人間関係が苦手。

み 俺から言わせたらさぼりたいだけと思える。

その通りです。申し訳ございません。

み (笑)オレもさぼりたい時もあるよ。堂々とさぼる(笑)でも、オセロだけはサボらないよ。それが違うところ。責任感を持つことが大事。

責任を持ちます。

佐藤賢治さん、ありがとうございました!

平成27年度産低農薬米『ゆめぴりか』 年間契約販売のご案内

北海道の『ゆめぴりか』 こころを込めて丁寧に精米して お届けいたします

こころやでは、ご注文をいただいてから精米し、お届けしております。精米したての新鮮なお米の美味しさを、ぜひご賞味ください。



北海道の優良品種
極良食味米

3kg 1,500円

5kg 2,500円

契約農家による低農薬米 だから安心・安全—

北海道勇払郡厚真町で、自然と付き合いながら農業を続けて50年、本田農場の『ゆめぴりか』を使用しています。

山深い厚真川の水田用水を利用し、除草剤・イモチ防除剤を各1回しか使用しない低農薬栽培をすることで、安心・安全な美味しい米づくりに取り組んでいます。



お客様のお好みに応じて 精米いたします

玄米

7分づき

白米

美味しくて栄養たっぷりの「7分づき」

玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「7分づき米」です。玄米の栄養素と白米の美味しさの「いいとこ取り」として今大きな注目を集めています。白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

年間契約販売は10kg単位のご注文からとなります

《有効期限》

2015年10月1日～2016年9月30日の1年間

5%
OFF

60kg以上年間契約をしていただくと、値段より5%引かせていただきます。

通常30,000円が → **28,500円**

1,500円OFF!

送料
無料

年間60kg以上ご契約のお客様は、配送料無料とさせていただきます。

※対象は琴似エリアのみとさせていただきます。周辺応相談。

年間契約をご希望の方は、こころやまでご連絡ください。FAXまたは郵送にて申込書を送付させていただきます。

お買い求め・年間契約のお申込みは



生活介護事業

こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F

TEL 011-633-6666

FAX 011-613-9323

ライフ事業所一覧

◇NPOライフ本部事務局

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

共働事業所きばりや

TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

こころや

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

コン・ブリオひだまり

TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812

札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

共働サービスたねや

TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

ヘルパーステーション繭結(ゆい)

TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

アウトソーシングセンター元気ジョブ

TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

共働事業所もじや

TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ)

TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808

札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

札幌市リユースプラザ

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003

札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

リサイクルプラザ発寒工房

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835

札幌市西区発寒15条14丁目2-30

5月

イベントカレンダー

21日

札幌市リユースプラザ

土

春だ!桜だ!リユースまつり(子どもまつり)

10:00~15:00

27日

ライフ本部

金

第19回 総会

18:00~終了次第

6月

4日

ライフ本部

土

全体会・懇親会

13:30~16:30

18日

札幌市リユースプラザ

土

《環境イベント》てらこやリユース

10:00~15:00

19日

札幌市リユースプラザ

日

《環境イベント》てらこやリユース

10:00~15:00

最新の情報は、
ホームページを
ご覧ください!<http://www.npolife.net>

NPOライフ

検索

日本発

《NPOライフブックレットのご紹介》

共生・共働の社会的企業

経済の民主主義と公平な分配を求めて

社会的排除から
インクルージョンへ

障害者、薬物・アルコール依存、シングルマザー、ホームレス、ニートなど、社会的に排除されやすい人を一定割合雇用、ソーシャルインクルージョンと平等な分配を追求する社会的事業所の意義と取り組み、促進のための制度を考える。

編者 NPO法人共同連

現代書館 195×135 240ページ 定価 2,100円

ブックレットのお申込みは、NPOライフ本部事務局まで!

メールでのお申込みは ⇒ honbu@npolife.net

ご協力ありがとうございます（順不同・敬称略）

アドボケ購読料

水口 正之 和島 正博 土井 裕之 星野 輝明 鈴木 康子 水口 祥次 近藤 邦雄

寄付金

岩本 道雄 児島 義道 山本 哲生 平川 則男 石澤 利夫

賛同会費

NPO法人北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

ライフカンパのご案内

～だれもが地域であたりまえに暮らし、働くことができる社会を作ろう～

ライフは障害の種別を超え、「働きたい」と願う人の気持ちを繋ぐために25年以上活動を続けてきました。これからも、障害のある人ない人をはじめ、社会的に不利な状況にある人たちも含めた、共に働き共に生きていく「社会的事業所」づくりをすすめていきます。ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

お振り込み先	口座番号／加入者名
北洋銀行	琴似中央支店 普通預金 4606735 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
札幌信用金庫	琴似支店 普通預金 3296744 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	振替口座 02710-4-63485 NPO札幌障害者活動支援センターライフ

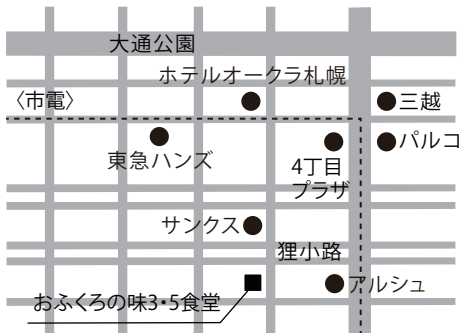
月替わりコラム
～私のオススメ～

おふくろの味 3・5食堂

もじや 中橋 敬人

おふくろの味3・5食堂(狸小路のところ)にたべに行きます。そのみせはメニューにオススメの定食とかあって、はじめていってみて、さば味噌をたのみました。しょっぱくなく、へんにくさくなく、おいしかったです。

一品メニューは、だし巻き卵じゃこおろしがおいしいです。味噌汁もだしがでておいしいです。



〈住所〉
札幌市中央区南3条西5丁目 NKC35ビル1F



編集後記

桜もほとんど散ってしまいましたが、なかなか温くなりません。桜の花は元気ならば来年も見ることができますが、花を見る余裕もない方々が熊本で被災された方々です。中でも災害弱者と言われている高齢者や障害者、子供たちです。これまでも大きな震災が起こった際にそういう方々への支援のあり方について議論されてきたはずです。しかし、今回もなかなか進んでいないことに憤りすら感じます。現地で障害当事者自らが他の障害者たちを支援しようと行動しています。読者の皆様にも熊本支援のご協力を是非ともお願いいたします。私たちが現地のニーズを把握しながら、できる行動を息長く行なっていきます。(タケ)

おどばけいし

2016年5月号

No.186 定価 100円

2016年5月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号530号 1973年1月13日第三種郵便認可 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
編集者=我妻 武
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
E-mail honbu@npolife.net ホームページ <http://npolife.net/> 郵便振替口座 02710-4-63485